

九州スマート農業推進リモートフォーラム

日時 令和3年2月19日(金) 13:00~16:00

会場 九州農政局から各会場を繋いだリモート開催(**Zoom**を活用)

目的

担い手の高齢化・減少が深刻化する中、コロナ禍によって新しい生活様式が求められるなど、農業の生産現場は多くの課題を抱えており、ロボット、AI、IoTなど先端技術で解決するスマート農業への期待が高まっています。

その際、ロボット農機が高額であったり、ドローン操縦者の育成に時間を要するなど、スマート農業を展開するに当たって費用と時間がかかるという指摘もあり、現場では、農機のリース・シェアリングや、ドローン操作の代行サービスなど新たな農業支援サービスとして提供する動きが生まれています。

本フォーラムでは、「農業支援サービス」をテーマに、基調講演や事例発表、パネルディスカッションを行い、サービスを提供する側と利用する側の実情や課題等を共有し、スマート農業技術の社会実装の加速化を図ることを目的に開催します。

内容

1. 情報提供 「農業支援サービス」について

農林水産省生産局技術普及課調査企画係長 山崎 裕介 氏

2. 基調講演 農機のシェアリングと今後の展開について

JA三井リース株式会社

農林水産本部食農ビジネス推進部主査 加藤 泰良 氏

3. 取組発表

(1) 受託防除作業をベースにした農業支援サービスの展開について

JA鹿児島県経済連農産事業部肥料農薬課長 清水 洋之 氏

(2) 農業支援サービスを活用した労働力不足の解消について

A-noker株式会社代表取締役社長 安東 浩太郎 氏

(3) スマート農業データ活用事例について

テラスマイル株式会社代表取締役 生駒 祐一 氏

4. パネルディスカッション

コーディネーター: 農林水産省九州農政局生産部長 野村 竜司

パネラー: 山崎祐介氏、加藤泰良氏、清水洋之氏、安東浩太郎氏、生駒祐一氏

主催: 九州農政局

協力: 九州バイオリサーチネット

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター

<お問合せ先>

九州農政局生産部生産技術環境課 農政調整官、資材対策係
代表: 096-211-9111 ダイヤルイン: 096-300-6266